

## カウントダウン その2

さあ、2カウントです。3月いっぱいまで臨時休業が伸び、部活動の制限が引き続き継続されました。新型コロナウイルスに罹患することは非常に危険なのですが、高校生活の中心となる学習活動と部活動の両輪をきちんと管理していくことこそ、来年度に向けて大切なことですので、家庭での生徒諸君自信の自覚でもきちんと確認のうえ、大いなる準備を重ねてください。

今年度の卒業生は大きな結果を残してくれました。東京大学現役2名浪人1名で合計3名、大阪大学現役1名浪人1名で合計2名、東北大学現役8名浪人2名で合計10名、福島県立医科大学現役7名浪人2名で合計9名、岩手医大1名、自治医科大学1名、その他私立医科大学2名、と医師への道を切り開いた諸君は、10名を超えたところです。

今、臨時休業中の生徒たちは、学習時間の確保とともに、健康のための運動を屋外で心掛けて下さい。スマートフォンを8時間も捜査しているとの情報もありますので、こんな時こそきちんと読書したり、来年使う教科書をすべて一度は読んでみたりしてください。

その結果が、来年の今頃に現れます。早稲田に入ると決めてラインもやめ、スマートフォンとの生活から一転して合格をもぎとった先輩や、センター試験を750点以上取ることを決めて、1日14時間勉強した者たちが、結果を出しているのです。

もともと、磐城高校に入学して来る者たちには、そのような素養が必ず備わっているのです。東北大以上に合格できる力は内蔵されているのです。後は、自分のキャパシティ全部を使いきれいかどうか、いつどこで誰がどのように使うのかの決断ができるかどうかです。

今後、早稲田や慶應などの6大学や、MARCHの結果を吟味してお届けしますが、一年のどの時期に何をどれくらい重ねていくのかが大切であり、合格してからのことを考えると、100冊以上の読書量は今作っておくべきであり、カラマゾフも知らない大学生にならないようにしないと、大学に入ってから、社会人になってから使い物にはなりません。

にじみ出る教養は地方出身者の持った宝物なのです。ジャガイモをどんな風に植えて、その成長過程でどんな風に花を咲かすのか、いつ収穫しどのような蓄え方をするのか、ほうれん草の育て方やキャベツや白菜の育て方、玉ねぎの植え方、魚の釣りの仕方など、1次産業の在り方については育つ中で身に着けてきたものでしょう。花の育て方もそうです。その資産を持つものが教養を身に着けていることが重要なのです。ゴッホのタッチを知り、モーツァルトの調べを聞き分け、島尾敏雄が福島に関わりのある人であることなどを知っていることが、やがて大きな花を開かせるのです。